

## カトリック司祭：“子供たちはレイプを求めている”！

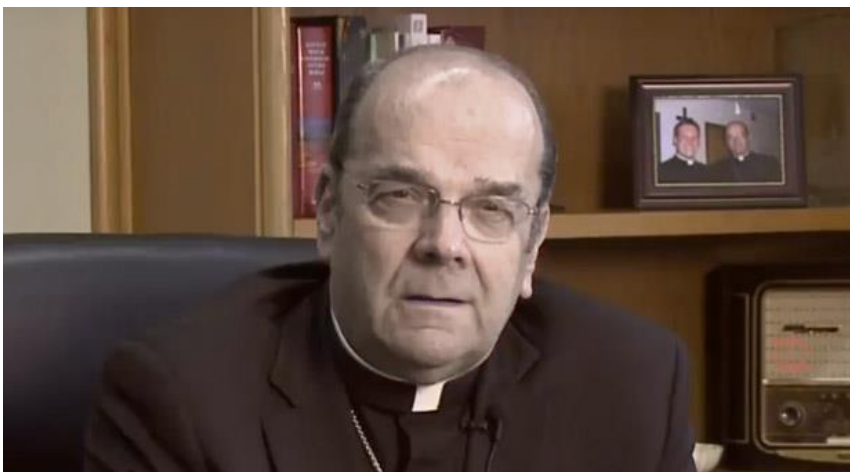
ペド僧侶の犠牲者は、性的虐待を受けた罪があると主張

【訳者注】このサイトに、これに類するニュースはかなりあるのだが、あまり紹介していない。しかしこれだけは、あまりにもひどいのと、気付いたことが一つあるので取り上げた。これは、私がここで、米 - NATO 軍の侵略の口実として、何度も指摘している「自分の罪状をもって相手を非難する」パターンと、あまりにも似ているではないか。例えば、侵略、国際法違反、プロパガンダ、ヒトラー、市民殺し、化学兵器などはすべて、プーチンやシリアのアサド大統領に対して、自分のやっていることを、相手の罪状として主張する例である。不思議なことだが、この両方の場面を、一つの人格をもったサタンが支配していると考えざるをえない。

それと、これらペド聖職者たちが共通して主張している、「子供たちの方から誘惑してきた」というのは、ウソではないであろう。おそらくこれは、悪霊に取りつかれた僧侶たちが、おそらく無意識にかける魔術の類ではなかろうか？ これだけ口を揃えて同じことを言うのは、ウソとは考えられない。前に紹介した例もそうだった。

Jay Greenberg, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

September 17, 2017



ニューヨークのあるカトリック司教は、ペドファイル聖職者の犠牲者たちは、「子供たちがレイプを求めている」のだから、自分自身を責めるよりほかないと主張したことで、ごうご

うたる怒りを買っている。<http://www.neonnettlles.com/tags/pedophile>

Robert Cunningham 司教は、ある子供が、シラキューズ教区の何人かの聖職者たちによって、性的に襲われたと主張した訴訟における証言で、ショッキングなコメントをした。

カニンガムは、この非難を犠牲者に押し返そうとし、教会の会衆を前にして、聖職者によってレイプされたその子供は“罪を犯した”のだと主張した。

問題の7歳の男児について話しながら、彼は言った――

「この男の子に責任があるのです。」

この証言の中で、カニンガムは「この男の子に責任がある」と言っただけでなく、犠牲者たちを「共犯者」だと呼び、「それは彼らが望んでいること」で、彼らが「それを求めたのだ」と言った。

Patheosによれば、カニンガム司教は、シラキューズ教区の聖職者たちに、子供のとき性的に虐待されたというある男性の起こした、連邦訴訟に対する2011年の証言でも、この嫌悪すべき主張を行った。<http://www.patheos.com/>

しかしこの見下げ果てた発言が公表されたのは、今月初めになってからだった。

否定的な世評と、辞任を求める合唱に対応して、カニンガム司教は、自分の恐るべき発言から遠ざかろうとしている。

今週初めに出示された書簡文で、カニンガム司教は、彼の「キリストにおける兄弟姉妹」に対して、自分は言われているほどの道徳的怪物ではないと、説得しようとしている。カニンガムはこう書いた――

[http://www.syracuse.com/news/index.ssf/2015/09/syracuse\\_bishop\\_on\\_2011\\_my\\_words\\_gave\\_the\\_wrong\\_impression\\_to\\_victims\\_of\\_child-m.html#incart\\_river](http://www.syracuse.com/news/index.ssf/2015/09/syracuse_bishop_on_2011_my_words_gave_the_wrong_impression_to_victims_of_child-m.html#incart_river)

「虐待の犠牲者に、決して落ち度はありません！」

カニンガム司教は更に続けて、なぜ彼が、聖職者に性的被害を受けたのは犠牲者である子供の責任だと証言したのか、なぜこのような犠牲者が、このレイプや、カトリック僧侶団によって受けた性的虐待を、「共犯」と考えるべきなのかについて、ぼやけた、説得力のない言

い訳を展開している。<http://www.neonettles.com/tags/child-abuse>

この物語にコメントして、“聖職者による虐待経験者ネットワーク”の会長 David Clohessy はこう言った——

「子供時代の性的暴行の犠牲者に対して、彼または彼女がトラウマをもっているのは自分のせいだと主張することは、私が一人の人間から想像しうる、最も非人間的なことだ。殊にそれが司教のような、十分に教育を受けた者であればなおさらだ。」

Clohessy は付け加えた——

「法廷の証言というものは、とっさにする発言とは正反対のものであることを、覚えておくことが重要だ。」

「カニングムは自分の言葉を慎重に選んで言っている。これは彼の冷酷非情さを、更に驚くべきものにするものだ。」

事ここに至れば、カトリック聖職者のメンバーが言ったりしたりする、どんなことにも、驚くべきではなくなる。

関連資料：「30 人の子供をレイプした HIV 感染のペドファイル聖職者が、教会によって赦免される」<http://www.neonettles.com/features/891-pedophile-priest-with-hiv-who-raped-30-children-forgiven-by-church>

戦慄すべき犯罪が、弁護され、教会僧職者メンバーによって罪を問われなかった事例は、数えきれないほど存在する。

そして、いつものように被害者は子供である。